

令和4年度 福島市予算

～コロナを越えて新たな復興創生ステージへ反転攻勢～

総合計画2年目となる令和4年度当初予算の総額は1,980億1,606万円になりました。

「開かれた市政」と「スピードと実行」を変わらぬモットーに、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、東日本大震災・原発事故からの復興・創生をリードし、新たな復興創生ステージへ「反転攻勢」をかけるべく施策・事業を展開する、過去最高の積極型予算を編成しました。

■問／財政課 ☎525-3704

予算の規模

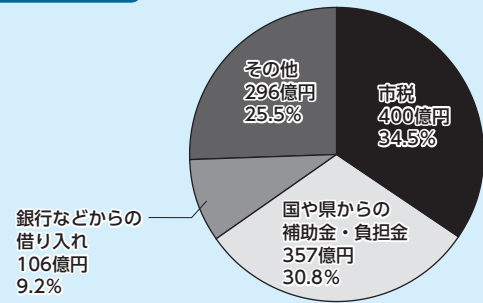
一般会計 **1,159億円**

特別会計 **564億円**

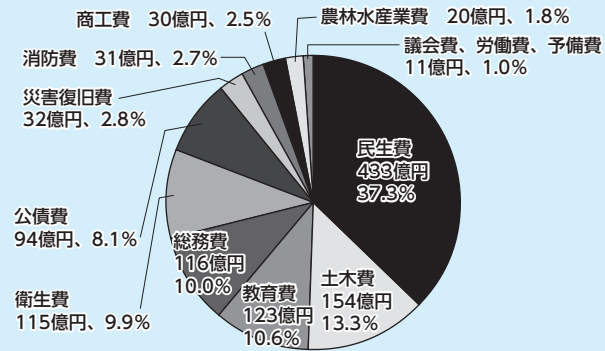
事業会計 **257億円**

一般会計とは、医療福祉や教育、道路整備など、市民の暮らしに密接した事業を行う市の基本的な予算です。

歳入(収入)



歳出(支出)



【民生費】
子育て環境の整備と福祉・医療・介護に
433億円(37.3%)

【土木費】
道路や橋、河川、市街地、住宅などの整備に
154億円(13.3%)

【教育費】
教育の質の向上と文化・スポーツの振興に
123億円(10.6%)

【総務費】
市の行政運営に
116億円(10.0%)

【衛生費】
健康で衛生的な暮らしの実現に
115億円(9.9%)

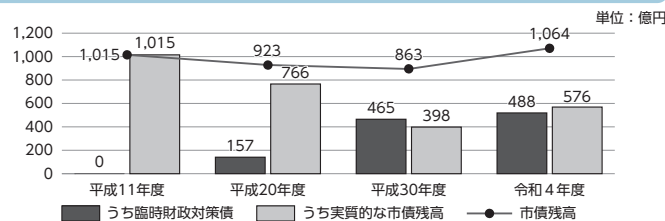
【災害復旧費】
原子力災害からの復旧に
32億円(2.8%)

【消防費】
生命と財産を守る活動に
31億円(2.7%)

【商工費】
元気あふれるまちと産業の発展に
30億円(2.5%)

【農林水産業費】
安全でおいしい食料の生産と森林環境整備に
20億円(1.8%)

市債残高の推移



市有財産の状況(令和3年3月31日現在)

土地	10,660,643㎡	車両	485台
山林・原野	17,122,879㎡	証券その他権利	277億1,355万円
建物	983,538㎡	基金	262億5,765万円

令和4年度の主要施策 重点プロジェクト ～新たな復興創生ステージへ～



いざ！反転攻勢！

1. 新型コロナ対策とコロナ後を見据えた変革

- 感染防止対策……………22億9,180万円
(医療・ワクチン接種・検査体制の充実、施設における感染防止対策など)
- 市民生活支援……………6億8,721万円
(家計急変者への自立支援や、妊産婦支援体制の強化など)
- 地域経済対策……………3億7,620万円
(借入利子補給などによる経営支援や中心市街地での事業展開、コロナ対応イベント開催の支援、ふくしま米の消費喚起対策など)
- コロナ後を見据えた変革……………4億2,545万円
(新しい生活様式や新たなビジネスモデルの定着、市民サービスのデジタル化など)

2. 安全安心なまちづくり

- 災害対策の強化……………18億2,178万円
(水害対策、除雪力強化など)
- 共生社会の推進……………62億6,582万円
(バリアフリー社会の推進、多文化共生の推進など)
- 「健都ふくしま」の創造……………11億8,407万円
(人生100年時代を見据えた健康づくりの推進)
- 「高齢者の元気」の創造……………84億3,597万円
(介護人材確保やシルバー人材センターの活動支援など)
- 地域医療の充実……………6億5,703万円
(救急医療体制の充実や夜間急病診療所の運営など)
- ゼロカーボン都市の推進……………6,454万円
(水素活用普及推進、再生可能エネルギー(小水力)導入促進など)

3. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

- 待機児童対策推進パッケージ……………2億8,587万円
(保育の受け皿の拡大、保育士の確保、待機児童ゼロの定着)
- 子ども・子育て新ステージ2020推進事業……………6億654万円
(特色ある幼児教育・保育の推進、給食への本市産農産物の使用拡大、給食費の負担軽減など)
- 保育士等の処遇改善……………2億9,790万円
(保育士、幼稚園教諭などの賃金引き上げの支援)
- 学校教育の質向上……………8億932万円
(福島型オンライン授業、いじめ・不登校対応推進など)
- 学びの環境の充実……………23億4,684万円
(学校施設のリフレッシュ、松陵中学校(本市初の義務教育学校)改築など)

4. 将来にわたり持続可能な産業の創出

- 農産物の販売拡大・ブランド力向上……………3,241万円
(スイーツ・プレミアム、駅前軽トラ市の開催など)
- 新規就農支援パッケージ……………9,201万円
(就農時初期費用の補助や農業メンターによるサポートなど)
- 農林業の振興と被害対策……………2億7,097万円
(鳥獣被害対策強化、気候変動対策など)
- 地場企業の振興……………9億9,877万円
(若手ものづくり後継者育成、特定集積産業分野にチャレンジする事業者の支援など)
- 企業誘致の推進……………7,411万円
(オフィス開設の支援、工業団地の整備など)

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

- 福島駅東口地区市街地再開発支援……………50億3,800万円
(駅前再開発事業を官民連携で実施)
- 街なかの活性化……………2億1,774万円
(まちなか広場リニューアル、空き店舗出店の支援拡充など)
- (仮称)市民センター整備……………4億1,035万円
(市役所本庁舎西側に「市民交流機能」、「議会機能」、「防災機能」を備えた施設を整備)
- 道の駅ふくしまグランドオープン……………6,203万円
(4月オープン「道の駅ふくしま」の運営)
- 古閑裕而のまちづくり……………1億1,607万円
(「古閑裕而作曲コンクール」創設、古閑裕而生誕記念コンサート開催など)
- 「ふくしまステイ。」プロモーション……………1,500万円
(首都圏向け誘客プロモーションの実施)
- スポーツのまちづくり……………2億406万円
(スポーツ合宿や大会の誘致、元日本代表を招待したサッカー親善試合開催など)

6. 人にやさしいデジタル化

- 高齢者・初心者向けスマートフォン講座……………246万円
(高齢者などを対象としたデジタル活用講座の開催)
- 電子町内会活動促進……………397万円
(単位町内会のウェブサイト作成支援)
- 電子図書館の開設……………4,740万円
(市民のライフスタイルに合わせた電子図書館を開設)

7. 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

- オフィス移転・移住定住推進パッケージ……………1億3,540万円
(新たなビジネススタイルの支援、リモート婚活イベントの実施、結婚新生活費用の一部補助など)
- 女性活躍の推進……………1,843万円
(起業にチャレンジしたい女性への支援、ひとり親家庭の資格取得費用の一部補助など)

8. 地域経営のリノベーション

- 「共創」によるまちづくり……………3,753万円
(地域コミュニティ等支援、地域おこし協力隊活用など)
- 連携中枢都市圏の形成による広域的発展……………640万円
(魅力あふれる圏域の実現に向けた取り組みを連携市町村と推進)
- デジタル化の推進……………5億2,971万円
(LINEによる相談・講座の予約、窓口手続きのオンライン化など)